

純ペア750円、年間臨時給5.44ヶ月!

【主な妥結内容】

- 労働協約に定める基準昇給の完全実施(定期昇給分の確保)
- 純ペア750円(全社員の職務遂行給に750円を加算)
※750円にエリア手当の反映分を含むと797円。
- 年間臨時給与5.44ヶ月
(夏季6/30 年末12/8に2.72ヶ月ずつ支払い)
- プロ採(大卒)・総合職(高専卒)初任給の引き上げ措置
- 北陸3セク会社への出向手当(広域、エリア内)に3,000円加算
- 契約社員、シニア・シニアリーダー社員の時間給5円引き上げ
(京阪神地区で2年目以上の契約社員(駅、客乗)は、10円引上げ)
- シニア・シニアリーダー社員の出向者の労働時間補てん措置等の導入
- 総合生活改善等
 - ・特定診断利用支援金の改善
 - ・項目の拡大(肝臓がん、胆のうがん、すい臓がん、前立腺がん、動脈硬化、心疾患)
項目数制限なし、項目あたり上限額廃止(男性2万円、女性3万円)
 - ・保育所等利用支援金の新設(共済会負担から会社負担へ)
 - ・団体定期保険のシニア・シニアリーダー社員への拡充
- 扶養手当の見直しについて早期に提案を実施【口頭表明】
- 企業型確定拠出年金の導入
(2018年度中の導入を目指す)【口頭表明】

厳しい逆風の中 4年連続のペア獲得!

JR
WEST
西
労
組
UNION
ニュース

No.9
(通算)No.505
2017.4.7
JR西労組ホームページ
(http://www.jrw-union.gr.jp)



西日本旅客鉄道労働組合
本部 〒530-0012 大阪市北区芝田二丁目一十八番
TEL NTT06-6375-1986 (西大阪ビル9F)
TEL JR大阪07-717-1554
FAX JR大阪07-717-1554
●発行責任者/荻野山勇市
●編集責任者/宮馬朗



2017春季生活闘争妥結にあたっての 中央闘争委員会見解

JR西労組中央闘争委員会は、本日2017春季生活闘争の最終交渉に臨み、基準昇給の実施に加え、純ペア750円、年間臨時給5.44ヶ月分、契約社員、シニア・シニアリーダー社員の時間給5円引き上げのほか、北陸第3セクター会社への出向者の出向手当改善等の回答を引き出し、大きな成果を確認して席上妥結した。

JR西労組は連合・JR連合方針に基づき、月例賃金総額6,000円以上の引き上げ、純ペア3,000円、シニア・シニアリーダー社員・契約社員の時間給単価4%引上げ、年間臨時給5.7ヶ月等を中心とする要求を提出し、JR西日本の堅調な経営動向を背景に、組合員と家族の負託に応えるべく、成果の公正な分配を求めて精力的な交渉を重ねてきた。

今春季生活闘争は、世界経済の不透明感が拡大する中、国内企業も好不調の企業が混在するなど、難しい環境の中での闘いとなった。一方で、JR西日本の経営動向は、昨年比減収減益見込みであるものの、熊本地震の影響、北陸新幹線開業効果の一巡など特殊要因を除いた基礎トレンドは上昇基調であり、JR西労組組合員の努力によって好調な経営を継続している。

交渉において我々鉄道業は、長期雇用を通じて技術・技能の向上を培っていくことが重要であるとの認識を踏まえ、安定的な配分を持続させること

とが組合員の生活の改善、労働意欲や求心力の向上につながることを主張して主張してきた。

また、契約社員を含めて職場の要員需給が逼迫する中、組合員が懸命に業務遂行している一方で、今年度は、日々の業務を改めて見直し、より効率的かつ効果的に業務を行うために「働き方改革」に積極的に取り組み、時間外労働の縮小などの成果を出している。これらの成果に対する配分も主張し、ペアの継続にこだわった力強い議論を展開してきた。

しかし、会社は、昨年比で減収減益であることや、今後人口減少に伴い市場全体の縮小が見込まれるなど、経営見通しは楽観できないと主張し、特に将来の固定費増につながるペアの実施には非常に慎重な姿勢を貫き、接点の見出しにくい交渉となった。

最終局面では大手企業の賃上げ回答が軒並み昨年を下回る見通しの中、極めて厳しい状況となったが、中央闘争委員会は、組合員とその家族の熱い思いを受けて、生涯賃金の増加につながるペアを最優先に徹底してこだわる粘り強い闘いを続け、最終的に純ペア750円、年間臨時給5.44ヶ月を中心とする成果を勝ち取った。4年連続のペアにより、3,250円の純ペアを積み上げたことは非常に大きな成果である。

今春季生活闘争も徹底的行動や各級機関の春闘集会等への積極的な参画により、中央闘争委員会を精力的に支えていただいたすべての組合員と家族の皆様により感謝申し上げる。今後、両バス地本、広島病院支部、宮島フェリー支部、JR西日本連合に結集する労組の交渉が本格化する。

この成果を活かして相乗効果が発揮されるよう最大限支援していく。

最後に、今後も安全を基礎に、会社の健全な発展を通じて私たちの地位の向上へ邁進していく決意を明らかにし、2017春季生活闘争妥結にあたっての中央闘争委員会の見解とする。

2017年3月15日

西日本旅客鉄道労働組合 (JR西労組)
2017春季生活闘争中央闘争委員会